

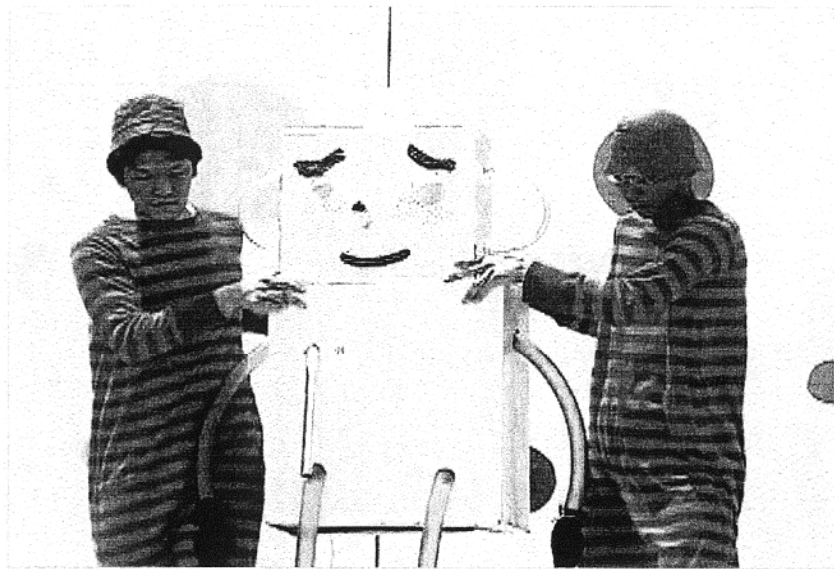
「ロボ」、大道芸に新風を

しずおか大道芸新聞

第4号

五月十九日、静岡大学「春のビッグフェスティバル」のメインステージにおいていささか奇妙なパフォーマンスが行われた。響き渡る鐘の音、一体のチープなロボット、不思議な衣装をまとった植木鉢を置く三人組、意味もなく倒れる人、花をいける人、背景に流れる詩の朗読、観客の戸惑う視線。静岡大道芸サークル「waps」有志による『憧れプラトニックロボ』である。

大道芸サークルの実験的試みについて部長の佐久川恵太氏が語る。



「春フェス」ステージにて。背景に溶け込んでいるが、中央がロボ

「大道芸」という言葉からどんなことをイメージするでしょうか？確かに大道芸としてはあります。しかし大道芸というものの魅力はその自由さにあると思います。現在ジャグリングを使ったパフォーマンスは多く、見たことのある方も多いでしょう。もちろん一口にジャグリングといっても色々な道具や技術などありますし、ジャグリング自体の面白さ、奥深さと合わさってパフォーマンスに使われるのは当然のことだと思えます。同じことをやっていても芸人によって見せ方や雰囲気など違うので一概にそれをマンネリ化とは言えません。しかしやはり少なからず「何か違う

ことをしたい、見たい」という人はいると思います。そのような演じる側と見る側の両方の思いが大道芸というものを開拓していくのではないのでしょうか。



ロボ自ら公演チラシを配る（静岡駅前地下道）

協力により、満足とまでは言ませんがなんとか形にすることが出来ました。自分達が面白いと思うことや実験的なことを詰め込んだ感じで、見ている人は戸惑ったりしていました。しかし、自分達が新鮮な気持ちになることが出来ました。ジャグリングの練習を積み重ね、技術を高めることに於いてもこのような挑戦心や新鮮な気持ちを忘れないようにしたいと思っています。

そんな『憧れプラトニックロボ』が静岡県舞台芸術公園野外劇場「有度」において、七月六日（土）より始まる「野外劇場フェスティバル2002夏の夜の共演」に参加します。私たちが参加しているのが気が引けたりしましたが、このような機会が与えられたことにとっても感謝しています。他の参加団体から刺激を受け、今後の活動に活かしていきたいと思っています。

文【佐久川 恵太】
撮影【Q11011】

静岡大道芸サークルwaps
<http://www.ne.jp/asahi/sodeya.com/petanc/>

※公演の詳細は本紙四面にて

「足踏」の二人が、「一番自分たちの気持ちを表しているもの」と言って、昨年ストリートで配布したチラシを見せられた。

「唄うことが大好きで、路上が大好きで、そして路上に集まるみんなの笑顔が大好きで、アットという間に過ぎた歲月、路上は僕らにとつて、かけがえのない場所。

仲間と集えば、昨日のイヤな出来事なんか忘れて、自然に笑顔になれるから、素敵な笑顔に逢えるから、僕等は唄うコトをやめない。

「二期一会」を大切にしたい。僕等の唄う歌達には、そんな想いがぎっしり詰まっています。」

足踏は、(自称・笑)全国のリーダーこと、ゼリイ(鈴木秀典)と、えっちゃん(猪目英津子)の男女二人組。ユニットとしては結成から四年経つが、ゼリイはそれ以前のソロでのストリート活動を含めると、なんと十年目になる。

ストリートデビュー

ゼリイがギターを購入したのは大学入学時。当初は「目立ちたい、女の子にモテたい」という下心もあったが、弾き慣れるにつれ、「自分の唄で人を笑わせたい。泣かせてみたい」という気持ちが強くなる。そのためには一人でも多くの人に唄を聴いてもらおうと、ストリートにデビューする。

もなく、そういったパフォーマンスをしている人もほとんどいなかった。最初は誰一人も立ち止まってもええ、凹んだときもあった。なんとか自分なりのスタイルを確立しようとしていた結果が、少し立ち止まる人とトークを交わし、リクエストを聞き出し、オリジナルやカバーソングを交えて歌う形だった。

その当時は「ストリートミュージシャン」なんて呼び名がなかったが、ストリートを卒業。就職後も時間的拘束に悩まされたが、ストリート



アホさ、では誰にも負けない！
ストリートミュージシャン
足踏

足踏の結成

その常連さんの中でゼリイのギターに合わせて唄いだしたのが、えっちゃんである。最初は、ゆず・山崎まさよし・CHAGE&ASKAなどのカバーが中心だったが、オリジナルソングも作り、唄い始めた。翌年九九年には、自主制作によるアルバムを作り、「足踏」というユニット名で活動を始めた。その名の由来は、二人のトークが噛み合わず、話の内容が一向に進まない足踏み状態と指摘されたところからであった。

そんな二人ではあったが、ゼリイのギターやパフォーマンスの経験と、えっちゃんのひととき目立つ声量の大きさ。そして、二人が唄い出す、身近に感じる唄の世界とその場の空間を楽しませる雰囲気により、足踏を毎週待ち望んで聞きに来る常連さんもあつという間に増えた。

足踏の周りには、いつも『仲間』がいる。『お客さん』よりも近い存在という意味の。

足踏と『仲間』は共に支え合っている。二人の唄う歌に共感や感動する。そのことを伝えられると、作って、唄って良かったという気持ちになり、時にはそれが新しい唄の誕生にもなる。

ストリートで『仲間』に出会えることが、二人がストリートミュージシャンをやっている楽しさだと言う。多くの仲間を支えられながら活動の範囲を広げていった。

九九年 地元放送局主催のコンテストで優勝。各種メディアにも出演。県外やライブハウスでも歌い始める。二〇〇〇年 コンテストの賞品としてスタジオレコーディングによるCD「塩」完成。千葉県柏市でのコンテストで特別賞を受賞。

〇一年 ミニアルバム「寄せ鍋」発表。
〇二年 柏市成人式に招かれる。最新CD「梅」発表。

足踏から一步前進へ

この四年間のうち何度か、足踏は様々な意見を交わし、自分たちのスタンスを考え、微妙に活動スタイルを変化さ

せていた。

以前は、『仲間』と出見え、
楽しめるストリートの雰囲気
を作りだし、自分たちも楽し
みながら活動することを重視
していた。しかし、「自分た
ちの想いをもっと、『唄』で
表現し、聴いてくれる人を元
気づけたい。もっと多くの
人に聴いてもらいたい」とい
う気持ちが強くなった。そのよ

うな想いに至った理由の一つ
は、自分たちの音楽の自信や、

手応え、そして、さらなる向
上への欲であった。

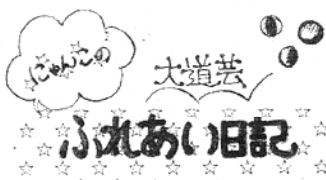
そして、さらに一人でも多
くの人に聴いてもらうために、
今まで全く興味を示していな
かったプロとしてのデビュー
を考え、足踏は「足踏み状態」
から一歩前進へと活動を開始
した。

足踏の曲は、生活の中で、
人との関わりの中で、感じた

ことが唄に反映され、唄われ
ていることが多い。二人の唄
を聴くときは、心の壁という
敷居をちよつと下げて聴いて
もらいたい。その唄はきつと
誰でも持っている気持ちであ
り、誰でも共感できる唄であ
る。それを感じていただけれ
ば、たちまち足踏の唄に魅了
されるだろう。

誰かが毎日の生活の中に
意味が解ってきた今日この頃。
誰かが毎日の生活の中に
私を持ち帰ってくれている…
こんな幸せ、他ではなかなか

文・写真【いっちゃん】

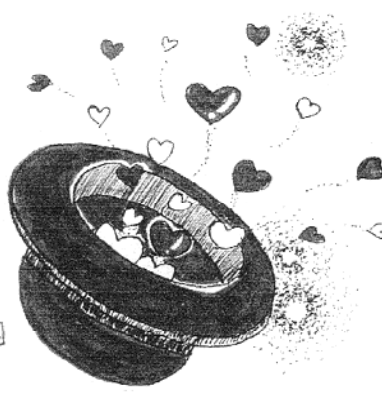


第3話 「お言葉」

を開いていたら、「以前大道
芸を見たよ」と言うお客さん
が。車イスに乗った息子さん
とお母さん。衣装も着ていな
いのに、声を掛けてくれたの
だ。何より覚えていてくれて
感激もひとしお。風船はいつ
かしぼんでしまうけど、思い
出は残るんだね。

「この前、小柄な女性が大
道芸しているのを観て、楽し
かったよ」と仲間づつに聞く
声もある。再会とは違うけど、
これも嬉しいお話。

「顔を覚えられる」という
意味が解ってきた今日この頃。
誰かが毎日の生活の中に
私を持ち帰ってくれている…
こんな幸せ、他ではなかなか



味わえない。だから大道芸は
やめられない！

芸人もお客さんの顔を結構
覚えているものだ。特に言葉
を交わしたお客さんは印象深
い。「あの時、あの場所で」
と一声掛けて頂くと、即座に
思い出す。

ストリートミュージック 路上音楽いんぷお

足踏

■路上ライブ
毎月第一・四日曜日
午後二時〜、青葉通り
■CD ニューアルバム「梅」
静岡県内すみやにて発売中
<http://welcome.to/ashibumi>

Amusement Tao

■路上ライブ
毎週金曜日夜、青葉通り
■CD 「タオハジメマシタ」
直接お問い合わせ下さい
■SBSラジオ「Amusement
Taoのらじおの王子様」
毎週木曜午後九時四五分
<http://www.taoweb.org/>

Misato&Shin

■路上ライブ
毎週日曜日午後二時〜、
青葉通り

ライブ

■六月二十九日(土) 正午頃〜
浜松市・ザザシティ前広場
七月九日(火) 午後九時〜
清水市・COOL MINT
(0543-67-0712) 五百円

■七月十九日(金) 午後九時〜
静岡市・GAJAH
(054-238-8228)

■共演/TOMIYASU
千八百円(前・千五百円)
七月二十八日(日) 午後八時〜
静岡市・DINAH
(054-254-0887) 六百円

■SBSラジオ「Misato &
Shinのらじおの王子様」
毎週水曜午後九時四五分
<http://www.17.u-page>
sonel.ne.jp/cb3/shinta/

先日、路上で風船ショップ

私を持ち帰ってくれている…
こんな幸せ、他ではなかなか

だから大道芸を観て下さる

【いっちゃん】

大道芸いんぷお

青葉通り (静岡市)

六月二十九日 (土)

午後一時三〇分〜四時

出演/いたずらBOX

(ハプニング)

浜松ドリームウェイブ

六月三十日 (日)

正午〜午後五時

場所/浜松アクトシティ周辺

出演/しおじや (一輪車)

ツインキューブ (クラウン)

TOMI (ジャグリング)

問合せ/(053)454-6721

沼津大手町商店街七夕祭

七月七日 (日)

午前十一時〜

場所/沼津市大手町商店街

出演/あまる (ジャグリング)

じょーじ (ジャグリング)

テルミン (ジャグリング)

にゃんこ (バルーン)

モリー (ジャグリング)

問合せ/(055)962-1750

富士夏祭り

七月二十八日 (日)

場所/富士中央公園

出演/かずや (ジャグリング)

チビ (クラウン)

もっちゃん (クラウン)

沼津祭

七月二十七日(土)二十八日(日)

午前十時〜

場所/沼津中央公園

出演/

(二七日)

欲望の☆ウサギ★

(ジャグリング)

らんちたいむ

(バルーン&ジャグリング)

(二八日)

ひでき (ジャグリング)

sei (バルーン&ジャグリング)

問合せ/(055)931-1114

相良夏夢舞台

八月三日 (土)

場所/榛原郡相良町

出演/犬がニヤーと泣いた

日 (コメディ)

王輝 (中国雑技)

クラウンビリ

(クラウン)

ジェームズ・ヨギ

TOMI (ジャグリング)

問合せ/(0548)52-0640

富士甲子祭

八月三日(土)四日(日)

午後一時頃〜

場所/富士駅前商店街通

出演/にゃんこ

(バルーン&ジャグリング)

欲望の☆ウサギ★

(ジャグリング)

中田ふれあい夏祭り

八月十七日(土)

午後五時三〇分〜六時

(雨の場合十八日午後四時三〇分)

場所/静岡市中田小学校

出演/あまる (ジャグリング)

かずや (ジャグリング)

さくがわけいた (ジャグリング)

テルミン (ジャグリング)

Q(クイック) (ジャグリング)

問合せ/070-5250-3389

アクトガレリア大道芸

場所/アクトシティ浜松

アクトプラザ2階外

「ガレリアモール」

時間/午後一時〜

午後二時三〇分〜

午後四時〜

六月三十日(日)

ジャグルライクダンス

(コンビジャグリング)

七月十四日(日)

アパッチ

(BMXアクロバット)

七月二十八日(日)

藤原秀敏 (シャボン玉)

八月四日(日)

コロラド・ジョーンズ

(ジャグリング)

八月二十五日(日)

上條充

(江戸あやつり人形)

問合せ/(053)451-1212

こかげ文庫 (移動図書館)

絵本の読み聞かせと大道芸

午後二時頃〜

七月三十日(火)

場所/静岡市井川

井川支所2階

出演/あまる (ジャグリング)

七月三十一日(水)

場所/静岡市玉川小学校

運動場

出演/あまる (ジャグリング)

八月二日(金)

場所/静岡市清沢小学校

体育館

出演/彦一団子 (ジャグリング)

問合せ/静岡市中央図書館

(054)247-6711

「憧れプラトニックロボ」

「大道芸」ではありません。

七月六日(土)

午後七時三〇分〜

「野外劇場フェスティバル」

場所/静岡県舞台芸術公園

・野外劇場「有度」

演目/

「Romantic Sad〜風鈴」

リズム&バランス元気会

「アストロガール」(演劇)

劇団ガーデンサラダ

「憧れプラトニックロボ」

静岡大道芸サークルwaps

チケット二千円

問合せ/090-9189-7241

音楽・大道芸いんぷお【ひい】

サポーター募集!!

NPO「しずおか大道芸のまち

をつくる会」は、静岡の街中で

日常的に大道芸を楽しめるまち

づくりを目指しています。

活動を応援してくれるサポ-

ーターを熱烈募集しています。

年会費、一口五百円。

サポーターの皆さんには「し

ずおか大道芸新聞」をお届けし

ます。

お申込み・お問合せは、代表

ひこまで。(この段最左記参照)

大道芸新聞、投稿大歓迎!!

執筆・編集スタッフ大募集!!

やる気に満ち溢れた方から、ち

よつかい半分の方まで。かくな

り人手不足です。ともに大道芸

を応援しましょう!!

しずおか大道芸新聞 第4号

二〇〇二年六月二十七日発行

発行部数三〇〇部

編集・発行

しずおか大道芸のまちを

つくる会

http://members.tripod.co.jp/

daidogeimachizakuri/

daidogeimachizakuri/

(代表) ひい

静岡市中田4-5-28-201

電話・070-5647-4024

hiko@tokai.or.jp